

子どもたちに安全安心な給食を提供するための対策は

畑井 陽子

問 市では、小・中学校で完全給食を実施している。県内で完全給食を実施している中学校は少ない中で、プロが作る温かい給食を提供する取り組みは評価できるが、実施に当たっては、安全で安心なものが提供されるべきである。衛生管理の徹底や調理業務従事者の研修、調理器具の

分解、洗浄など、徹底管理されている中で、昨年度異物混入の状況と再発防止にどのような対策を講じたのか。また、福島第一原子力発電所の事故以来、提供食の放射性物質の濃度検査を行っているが、今年度より検査を週に1度から2週に1度に変更した理由は。 **答** 学校給食は、安全で安心なものを安定的に供給しな

ければならないと考えている。一般食品への異物混入などが頻発しているが、本市でも昨年度、健康被害には至らなかったが調理中に器具の部品とビニール片が混入するという異物混入事故が発生した。再発防止策として、調理従事者に注意喚起するとともに、調理業務の作業工程をマニュアルどおりに行うことを徹底した。放射性物質の濃度検査は、過去に2度微量の放射性セシウムが検出されているが、測定下限値未満の測定結果が続いているため、提供した給食を2週間分まとめて行うことに変更した。

二見 昇
問 市では、人件費を下げ、正規職員を減らし、官製ワーキングプアと言われる

職員と同じ業務を行う非常勤職員の賃金決定の根拠は

低賃金の臨時・非常勤職員を雇用して市政運営を行っている。非常勤職員は、正規職員と同様の業務を行っているにもかかわらず、平均年収が77万円程度と聞いている。総務省の通知によると、非常勤職員の賃金などは職務の内容や責任によって決定されるべきであるが、市が賃金を決定する際の根拠と、近年の平均年収と通勤費の支給ができることとで、以前には一時金も支払われていたと聞いているが、現在の状況はどうか。 **答** 非常勤職員の賃金は、総務省自治行政局からの通知に基づき、各自治体の裁量に

より決定している。本市の賃金額は職種ごとに設定し、事務の種類や性質、必要となる資格などを考慮するとともに、神奈川県最低賃金及び近隣自治体の状況なども参考に決定している。平成25年度の平均年収は約80万円だった。また、通勤費は、正規職員と同様に交通機関利用者及び交通用具を利用した方に原則実費を支給している。一時金は、財政面の見直しと近隣自治体の状況から判断し、16年度から支給していない。(ほかに「日米安全保障協議委員会(2+2)の概要から」を質問)

自助・共助・公助を連携して災害に強いまちづくりを

あやせ未来会議 比留川政彦

問 近年、地球温暖化による異常気象が頻発しており、地方公共団体は風水害や地震など自然災害の被害を最小限にとどめるため、防災、減災へ備えることが急務の課題となっている。災害に対しての備えは、自助、共助、公助があるが、まずは家庭での備え、自助の部分が非常に大切と考

える。各家庭で水、食糧、日用品などが備えられるように、自分の命は自分で守るという自助の大切さを、市民へ積極的に啓発を行うべきと思うがどうか。また、資機材の備蓄や災害協定の締結など、共助、公助部分の災害対策の現状と今後の取り組みは。 **答** 自助の取り組みは、防災対策総合ガイドや防災マップ、ハザードマップなどの配付、各種講演会の開催や講座への講師派遣などを実施し、自助に対する意識啓発に努めている。また、共助の取り組みは、地域で行う自主防災訓練や地域の防災まちづくりアクションプログラムの作成などの支援を継続していく。公助の取り組みは、建機レンタル会社と応急対策資機材の協定締結や地震気象情報サイトの公開、防災行政用無線の個別受信機の更新などや、要配慮者及び自主防災組織の資機材の充実を図り災害に強いまちづくりを進めていく。(ほかに「教育力向上への取り組みについて」を質問)

災害に備え図上訓練や学校と地域の合同訓練の実施を

志政あやせ 橋川 佳彦

問 大地震などの災害が起きた際、自分が住んでいる地域にどのような被害が生じるかを事前に考え、準備しておくことは大切だと考える。本市でも、地域によって避難所までの距離に差があり、坂がある場合もあるなど、実情に沿った訓練が必要とされる。地図上で、災害時の危険箇所や避難経路などを確認し、情報の共有をゲーム形式で行えるDIG(災害図上訓練)を地域の防災訓練に取り入れてはどうか。また、災害が起きた際、学校には子どもと地域住民が集まるため、学校と地域が連携を図り、合同防災訓練を実施すべきではないか。

答 平成25年3月に作成した、市防災まちづくり計画に基づき、モデル地域ではワークショップを開催し、地域の課題などのグループワークを重ねている。27年度は、防災まちづくり活動でのアクションプログラム案を作成する予定であり、DIGを含むさまざまな訓練の実施に向けて検討したい。また、学校と自治会などとの合同防災訓練は、情報、通信、施設、備蓄品などの共有が可能となり、児童・生徒の安全確保にも有効な訓練である。しかし、さまざまな課題があるため、関係部署と研究を重ね、有効な防災訓練を実施していきたい。(ほかに「職員の適正配置について」を質問)



光綾公園では、バラが満開でした



市公認キャラクター「ブタッコリ〜」

詳しい内容は会議録・HPで

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部を掲載しています。詳しくは、市役所内情報公開コーナー、市立図書館、市議会に備えてある会議録をご覧ください。また、インターネットでも、会議録の閲覧や検索ができます。なお、5月臨時会、6月定例会の会議録は、8月下旬に閲覧できる予定です。